

## 《参考3》 障害のある方やご高齢の方が震災直後に困ったこと

### アンケート自由記述から 抜粋

#### ■視覚に障害がある人

- ・地震直後、家の中や周囲の状況がわからなかった。
- ・高齢の上、全盲なのでどうすることもできない。家で独りの時は本当に困る。
- ・情報が張り紙になっていて困った。

#### ■聴覚に障害がある人

- ・耳が不自由な人には情報が得られません。聴こえていれば移動できますが、分からないととまどうことがあります。
- ・ケーブルテレビにテロップがなく、何が言われているかわからなかった。

#### ■身体に障害がある人

- ・家の中でひとりだった。地震が来ても足元が不安定で立ち上がることは出来ないし、後ろにある筆筒が倒れるかもしれないと知りながら動くことが出来ず恐ろしかった。
- ・本人は寝たきりなので、外に逃げだせませんでした。介護する私もどうする事も出来ず、揺れがおさまるまでベッドサイドにずっと一緒にいました。とても怖かったです。
- ・車いすでは避難所まで行けないと実感した。もうあきらめています。
- ・マンションに住んでいますが、足が悪いのでエレベーターが止まり大変でした。

#### ■知的障害のある人

- ・余震のたびにパニックになった。
- ・震災後、少しの揺れに敏感になり、おびえて一人で過ごすことができなくなった。時々奇声をあげたり落ち着きのない行動に、近所の人にも冷たい視線を浴びるようになり外へでたがらなくなった。

#### ■精神障害のある人

- ・薬がなくなり、もらえるか不安だった。
- ・余震やライフラインが停止したことがストレスだった。

#### ■人工肛門造設のある人

- ・停電より断水が困った。人工肛門で汚物を処理するときに水がないと困る。

#### ■酸素ボンベなど医療機器を使っている方

- ・長時間の停電により痰吸引器が使用できなくなり、やむを得ず救急車を使用した。
- ・4時間ごとに腹膜透析をしてるので困った。息子の家で行った。
- ・ペースト食のため電気が使えずミキサーを使用できなかったのでやむなく経管をいれ栄養を取った。

#### ■認知症高齢者・寝たきり高齢者・一人暮らし高齢者など

- ・老人を車に避難させるとき重かったので大変だった。おむつ替えは、狭かった。
- ・情報が何も入らず、現実はどうなっているのか全くわからなかった